

イエズス弟子に曰ける「衆人を五十八づゝ列べ坐せしめよ。弟子らの如く行て彼等をみな坐せしめたり。イエズス五のパンとどり天を仰ぎ祝して之をわり弟子に予て衆の前に陳しむ。みな食飽て餘の屑を十二の筐に拾たり。○イエズス衆の在ざりしとき祈講交たりしが弟子も筐に居りイエズス之亦問て曰ける「衆人の我を言て誰と爲か」答て曰ける「パテラチエリヤ或ハチエリヤ或ハチエリヤ或ハチエリヤの一人の懸れる也」イエズス曰ける「爾曹の我を言て誰と爲か」答て曰ける「パテラチエリヤ或ハチエリヤ或ハチエリヤの一人の懸れる也」イエズス曰ける「爾曹の我を言て誰と爲か」答て曰ける「パテラチエリヤ或ハチエリヤ或ハチエリヤの一人の懸れる也」

又に棄ちま且被ざれば三日に懸るべし。又イエズス衆人に曰ける「若われに従はんと欲する者ハ己に克て日ろの十字架を負て我に依へる」の生命を保全せんと欲する者ハ之を棄て我ために生命を棄てざる者ハ之を保全すべし。人も且全世界を利するとも自己を喪ひ自ら亡ん何の益あらん乎。我と我道を離る者ハ人の子も亦我が榮光と父と聖使の榮光をもて来る時て之を耻べし。われ誠に爾曹に告今此に立者の中

に神の國を見まてり死ざる者あり。○此事を言けるのち八日をかり過てイエズスベテラコヨハチヤコブを携ひ祈禱せんとて山に登れり。祈れる時に其顔の貌づねに異り其衣服もろく輝きぬ。二人のハありて之を言へり即ちモテセエリヤなり榮光の中に現れて。イエズスのエルサレムにて既や世を遡んとする事を語る。ベテラコ及び僧に在し者衆いたく驚たりしが己に醒てイエズスの榮光また僧に立る二人を見たり。この二人のイエズスと別る時。ベテラコイエズスに曰ける「師よ此に居れらば三の暎を種せ給へ。一ハ爾のなめ一ハモテセのなめ一ハエリヤの爲にせ此其言どをぞを聞きし也。かく言るとぞ雲きたりて彼等を蓋へり其雲に入らんとぞ弟子たち權ぬ。雲雲より出て曰ける「此ハ我愛する者あり之に聽べし。聲寂たれば

ルカ九章三十八節
ルカ九章三十九節
ルカ九章四十節
ルカ九章四十一節
ルカ九章四十二節
ルカ九章四十三節
ルカ九章四十四節
ルカ九章四十五節
ルカ九章四十六節
ルカ九章四十七節
ルカ九章四十八節
ルカ九章四十九節
ルカ九章五十節
ルカ九章五十一節
ルカ九章五十二節
ルカ九章五十三節
ルカ九章五十四節
ルカ九章五十五節
ルカ九章五十六節
ルカ九章五十七節
ルカ九章五十八節
ルカ九章五十九節
ルカ九章六十節

惟イエズス一人を見たり弟子たち口を縛て見たりし事を當時誰にも告ざりき。○翌日山より下りけり。許多の人々イエズスを追ふ。其中の或一人よむりて曰ける「師よ願たまへ此ハ我獨り子なるに惡鬼の爲を憑れてハ忽然さびげ泡をふき拍撃られて傷み離るとぞ實に難し。我之れを逐出す事を爾の弟子に教しかば能ざりき。イエズス答て曰ける「噫信なき悖逆世なる哉。爾曹の中に爾曹を怨て幾何時あらん。爾が子を此に携來れ。來バ惡鬼かれを傾跌て拘撃ぬ。イエズス汚たる鬼を斥て其子を醫じ父に予へたり。衆人みな神の大なる能を驚きイエズスの行し事を異める時にイエズス弟子に曰ける「此言を爾曹耳に藏めよ。夫人の子ハ人の手に付ざれん。彼等この言を悟ざりしと悟ざるや。隠されたる也。彼等もまた懼て此事を問ざりき。○弟子等のうち互に誰か大ならんとの爭論ありければ。イエズス其心の念を如て孩子をとり側にてて。彼等に曰ける「我名ハ爲に此孩子を接する者ハ即ち我を接する者ハ我を遣しし者。接する者凡て爾曹のうち最も小者。是大ならん。ヨハチ答て曰ける「師よ爾の名に托て鬼を逐出する者を見たりしが我儕と共に従はざる故に之を禁たり。イエズス曰ける「禁ること勿れ。我儕に敵抗する者ハ我儕に屬者なり。○イエズス天に升るの期いたりければエルサレムに往て之を確定めたり。使

者等を先に遣しければ。彼等ゆきてイエズスに備んが爲サマリヤ人の郷に入りしに。郷人らのエルサレムに向行ひしなるが故に。イエズスを納ざりき。弟子のヤコブヨハチ此事を見て曰ける「主よ我儕エリヤの行し如く天より火を召降し彼等を滅びたす可か。イエズス願みて之を責め曰ける「爾曹の心如何なる乎。自ら知るなり。人の命を滅ぶ爲に來本。惟之れを救ふに遂に他の郷を往り。○爾を行とき或人イエズスに曰ける「主よ何處に往たまふとも我物はハ。イエズス彼に曰ける「狐の穴あり。天空の鳥ハ巢あり

ルカ九章六十一節
ルカ九章六十二節
ルカ九章六十三節
ルカ九章六十四節
ルカ九章六十五節
ルカ九章六十六節
ルカ九章六十七節
ルカ九章六十八節
ルカ九章六十九節
ルカ九章七十節
ルカ九章七十一節
ルカ九章七十二節
ルカ九章七十三節
ルカ九章七十四節
ルカ九章七十五節
ルカ九章七十六節
ルカ九章七十七節
ルカ九章七十八節
ルカ九章七十九節
ルカ九章八十節
ルカ九章八十一節
ルカ九章八十二節
ルカ九章八十三節
ルカ九章八十四節
ルカ九章八十五節
ルカ九章八十六節
ルカ九章八十七節
ルカ九章八十八節
ルカ九章八十九節
ルカ九章九十節

然ども人の子ハ赦する所なし又ある一人に曰けるハ我に從へば我に先ゆきて父を拜する事を我に容せイエスは曰けるハ死たる者に其死し者を拜らせ爾が往て神の國を宣ふ又ある一人に曰けるハ主よ爾に從はん先ゆきて家人に別を告ることを容せイエスは曰けるハ手を擧げて後を顧る者ハ神の國に當ざる者なり

此後主また七十八を立て之を兩個づゝに分ち自ら至んとする諸島諸地へ前に遣さんとして彼等に曰けるハ我の收帳ハ多く工人の少し故に今の稼主に工人を收帳所に遣んことを求めし往われ爾曹を遣すハ盜を狼のなかに入るが如し獲また旅袋履をも携へて勿れ途にて人に問候をもする勿き人の家に入らば先づ家の安全ならん事を求人若くは安全の子わらば爾曹が祈る安全ハ其家に留らん若くはから歩み其祈る安全あんからに歸べし其家に居りて俱る所のものハ之を飲食せよ蓋工人の其工錢を獲らば其家の中なる病の者を醫せ亦衆人ハ神の國ハ爾曹に近けりといふも且邑に入んに接る者亦くハ備に出て曰われ爾に沾る爾が邑の塵ハ爾曹に對て抛ん然ども神の國の近けるを知われ爾曹に告ん其日いたらば

ソロム刑罰ハ此邑よりも却て易かるべしわく神ある哉コラソムも臆禱ある哉ツサイアも爾曹の中に行ひ異能を著ソロムソロムに行しならば彼等ハ早く麻をき灰を蒙り坐して悔改しなるべし無判にソロム刑罰ハ爾曹よりも却て易からん巴に天にまで擧げられたるカベサクムも又陰府に落さるべし爾曹に聽者の我に聽なり爾曹を乘る者ハ我を乘る者ハ我を遣はす者を乘る者あり

七十人喜び返りて曰けるハ士と惡鬼とへも爾の名に因て我儕に服せりイエスは曰けるハ我電の如く

六六〇一
六六〇二
六六〇三
六六〇四
六六〇五
六六〇六
六六〇七
六六〇八
六六〇九
六六〇一〇
六六〇一一
六六〇一二
六六〇一三
六六〇一四
六六〇一五
六六〇一六
六六〇一七
六六〇一八
六六〇一九
六六〇二〇
六六〇二一
六六〇二二
六六〇二三
六六〇二四
六六〇二五
六六〇二六
六六〇二七
六六〇二八
六六〇二九
六六〇三〇
六六〇三一
六六〇三二
六六〇三三
六六〇三四
六六〇三五
六六〇三六
六六〇三七
六六〇三八
六六〇三九
六六〇四〇
六六〇四一
六六〇四二
六六〇四三
六六〇四四
六六〇四五
六六〇四六
六六〇四七
六六〇四八
六六〇四九
六六〇五〇
六六〇五一
六六〇五二
六六〇五三
六六〇五四
六六〇五五
六六〇五六
六六〇五七
六六〇五八
六六〇五九
六六〇六〇
六六〇六一
六六〇六二
六六〇六三
六六〇六四
六六〇六五
六六〇六六
六六〇六七
六六〇六八
六六〇六九
六六〇七〇
六六〇七一
六六〇七二
六六〇七三
六六〇七四
六六〇七五
六六〇七六
六六〇七七
六六〇七八
六六〇七九
六六〇八〇
六六〇八一
六六〇八二
六六〇八三
六六〇八四
六六〇八五
六六〇八六
六六〇八七
六六〇八八
六六〇八九
六六〇九〇
六六〇九一
六六〇九二
六六〇九三
六六〇九四
六六〇九五
六六〇九六
六六〇九七
六六〇九八
六六〇九九
六六〇一〇〇

斯の天より墮るを見し我ながらに蛇蝎を屣きた敵の諸の權を制する權威を賜たり必ず爾曹を害ふ者あし然も惡鬼の爾曹に服し事ハ喜とする勿れ爾曹が名の天に録されしを喜ですべし此時イエス心に喜びて曰けるハ天地の主なる父よ此事を智者と達者どもに應じて赤子に顯し給ふを誇り父よ然るれ是の如きハ意旨に適るなり父ハ萬物を我に賜ふの外に子ハ誰なるを識者か亦子ハ父の喜す所の者の外に父ハ誰なるを識者なしイエス弟子を屬て歸て曰けるハ爾曹を見よ此の事を見るもの目ハ禱あり我ながらに告ん多の預言者および王も爾曹を見よ此の事を見んとせしかばども見ず爾曹が聞どころの事を聞んとせしかばども聞きよ

愛に一個の教法師あり起て彼を試み曰けるハ師よ我なを爲ハ永生を受べき乎イエスは曰けるハ律法に録されし何ん爾が答て曰けるハ爾心を盡し精神を盡し力を盡し意を盡して主ある爾の神を愛すべし亦己の如く隣を愛すべしイエスは曰けるハ爾の答へ然り之を行せと生べし彼みづからを罪なき者に爲んとてイエスに曰けるハ我隣とハ誰なる乎イエスは答て曰けるハ爾ハエルサレムよりエリコに下るとき強盜に遇り強盜の衣服を剥取て之を打擲き滅死にあして去ぬ斯る時ハ或祭司この路より下しが之を見過かして行り又レビの人も此亦至り進み見て同く過行り或サマリヤ人の旅して此に來り之を見て憫み近よりて油と酒を其傷に沃て之を裹て己が驢馬のせ旅馬も携けて介抱せり次日いつるとき銀二枚を出し館主の手て此人を介抱せよ與もと増バ我かへりの時なんぢも償ふべしと曰り然バ此三人のうち誰か強盜と遇し者の隣なると爾意ふや彼にひけるハ其人を稱恤たる者なりイエスは曰けるハ爾も往て其ごとく爲よ

かれら路を行る時イエス一婢を入りければパウロと云る婢これを見て自己の家に入りてその婢妹ホリアと云る者ありイエスの

六六一
六六二
六六三
六六四
六六五
六六六
六六七
六六八
六六九
六七〇
六七一
六七二
六七三
六七四
六七五
六七六
六七七
六七八
六七九
六八〇
六八一
六八二
六八三
六八四
六八五
六八六
六八七
六八八
六八九
六九〇
六九一
六九二
六九三
六九四
六九五
六九六
六九七
六九八
六九九
七〇〇
七〇一
七〇二
七〇三
七〇四
七〇五
七〇六
七〇七
七〇八
七〇九
七一〇
七一一
七一二
七一三
七一四
七一五
七一六
七一七
七一八
七一九
七二〇
七二一
七二二
七二三
七二四
七二五
七二六
七二七
七二八
七二九
七三〇
七三一
七三二
七三三
七三四
七三五
七三六
七三七
七三八
七三九
七四〇
七四一
七四二
七四三
七四四
七四五
七四六
七四七
七四八
七四九
七五〇
七五一
七五二
七五三
七五四
七五五
七五六
七五七
七五八
七五九
七六〇
七六一
七六二
七六三
七六四
七六五
七六六
七六七
七六八
七六九
七七〇
七七一
七七二
七七三
七七四
七七五
七七六
七七七
七七八
七七九
七八〇
七八一
七八二
七八三
七八四
七八五
七八六
七八七
七八八
七八九
七九〇
七九一
七九二
七九三
七九四
七九五
七九六
七九七
七九八
七九九
八〇〇

れに曰けるハ爾曹パリサイの人柳と盤の外を深す然も爾曹内ハ貪慾を惡にて充リ無知ある者よ外を造
 し者ハまた内をも造ざりし乎なんちら所有物を以て施せ然ハ爾曹の爲に凡の物ハ潔れる也 禍ある
 哉かちちらパリサイの人ハ薄荷茴香および凡の野菜十分の一を取納て義と神を愛することを廢てれ行ふ
 べき事なり彼も亦廢べからざる者あり 神ある哉なんちらパリサイの人ハ會堂の高座市上の罽安を好
 むり 神ある或る爾曹ハ塵埃たる墓の如し其上を行く人々こそを知らざる也 爾曹の教法師てたてて曰
 けるハ爾曹此言ハ我儕をも辱しハ イエス曰けるハ爾曹も神なるか 爾曹の鑰を奪て自ら入
 ら指一をも其荷に披す 神ある哉なんちら預言者の墓を建なんちらの先祖ハ之を殺せり 實に爾曹
 先祖の爲る事をこの証明を爲り夫かまらハ之を殺し爾曹ハ其墓を建 是故に神の智慧いへる言あり我
 預言者および使徒を彼等に遣さんに其中の或者を殺し或者をバ害むべしと 創世より以來ながし凡の
 預言者の血ハ此代に於て罰さん爲さる 即ちアベラの血より殿と祭壇の間に殺されたるガカリヤの血
 になで至れ爾曹に爾曹に告ん之を此代に罰すべし なんちら爾曹なるか 爾曹の鑰を奪て自ら入
 す且入んとする者をも罰し 此言を語るべき學者とパリサイの人々深く憤恨を含て多端の事を詭か
 うの口より出る言を何事か取へ訴えんとして伺ひたり
 爾曹のとき數萬の人々相踐わ程ハ集れり イエス先弟子に曰けるハ爾曹パリサイの人の類
 を誹めよ是偽善なり 爾曹掩れて隠れざる者ハかく隠て知れざる者ハかくし 是故に爾曹幽暗を誦して
 ハ光明を開閉べし密なる室わて耳を閉言してどハ屋上を擡るべし 我友ハ爾曹に告ん身體を殺して後
 何をも爲能ざる者を懼る 勿れ 爾曹懼べき者を爾曹も亦ざん殺したる後に地獄に投入る權威を有る者

- ルカ 11:15
- ルカ 11:16
- ルカ 11:17
- ルカ 11:18
- ルカ 11:19
- ルカ 11:20
- ルカ 11:21
- ルカ 11:22
- ルカ 11:23
- ルカ 11:24
- ルカ 11:25
- ルカ 11:26
- ルカ 11:27
- ルカ 11:28
- ルカ 11:29
- ルカ 11:30
- ルカ 11:31
- ルカ 11:32
- ルカ 11:33
- ルカ 11:34
- ルカ 11:35
- ルカ 11:36
- ルカ 11:37
- ルカ 11:38
- ルカ 11:39
- ルカ 11:40
- ルカ 11:41
- ルカ 11:42
- ルカ 11:43
- ルカ 11:44
- ルカ 11:45
- ルカ 11:46
- ルカ 11:47
- ルカ 11:48
- ルカ 11:49
- ルカ 11:50
- ルカ 11:51
- ルカ 11:52
- ルカ 11:53
- ルカ 11:54
- ルカ 11:55
- ルカ 11:56
- ルカ 11:57
- ルカ 11:58
- ルカ 11:59
- ルカ 11:60
- ルカ 11:61
- ルカ 11:62
- ルカ 11:63
- ルカ 11:64
- ルカ 11:65
- ルカ 11:66
- ルカ 11:67
- ルカ 11:68
- ルカ 11:69
- ルカ 11:70
- ルカ 11:71
- ルカ 11:72
- ルカ 11:73
- ルカ 11:74
- ルカ 11:75
- ルカ 11:76
- ルカ 11:77
- ルカ 11:78
- ルカ 11:79
- ルカ 11:80
- ルカ 11:81
- ルカ 11:82
- ルカ 11:83
- ルカ 11:84
- ルカ 11:85
- ルカ 11:86
- ルカ 11:87
- ルカ 11:88
- ルカ 11:89
- ルカ 11:90
- ルカ 11:91
- ルカ 11:92
- ルカ 11:93
- ルカ 11:94
- ルカ 11:95
- ルカ 11:96
- ルカ 11:97
- ルカ 11:98
- ルカ 11:99
- ルカ 11:100

を懼ら我こそハ爾曹告ん之を懼べし 五の雀ハ一銀をて售お非ずや然るも神も非て其をも忘れ給
 はず 爾曹の首の髪また皆かちへらるる故に懼る 勿れ爾曹ハ多ば後よりも貴れり 又われ爾曹告ん我
 をハ決前に識と言ん者ハ人の子も亦神の使者の前ハ之を識と言ん 我を人の前に顯すと言ん者ハ神の
 使者の前ハ彼も識と言んべし 凡ハ人の子を識る者ハ赦さる可れ 聖靈を戮する者ハ赦さる可らず 人
 女ちちを會堂まわ執政および權ある者の前ハ申携かバ如何にたへ何を言んと思ひ願ふ勿れ 其用ハ説
 べき言ハ聖靈なんちらに示すべし 衆人の中より一ハイエス小曰けるハ爾曹我ハ兄弟に遺業を我に分
 すと命たすハ イエス曰けるハ誰われを立て爾曹の裁判人とたす物を分つ者ぞ爲しハ イエス衆人に
 曰けるハ戒心して貪心を慎めよ夫人の生命ハ所蓄の饑なるにハ因さる也 また爾曹を彼等に語て曰けるハ
 或富人ハ田畑よく豊けれバ 自ら恃い以けるハ我が作物を藏る所なきを如何せん 又曰けるハ我ハ
 爲ん我倉を毀も更に大なるを建すべて我が作物を其所に藏べし 斯て靈魂に對し靈魂も多年を過は
 ざるの許多の貨物を有たれば安心して食飲樂めよと言ん 然るに神これに曰けるハ無知なる者よ今夜
 かんちが靈とらるること有べし 然ハ爾曹の儲り物ハ誰か有らざる乎 凡ハ己の爲り財を積んて神に就て富
 ざる者ハ此の如かり イエスハ 弟に曰けるハ故に我なんちらに告ん爾曹生命の爲に何を食ハ身體の
 爲に何を著んとて思ひ願ふ勿れ 生命ハ糧より豊り身體ハ衣よりも優れり 狼を思見よ 孫す糧す食をも
 納屋をも有然も神ハ此等を廢入現て爾曹ハ鳥よりも貴きこと幾何ならず 爾曹のうち誰かよく思
 ひ願ひて其生命を寸陰も延得んや 然ハ最小事すら能ざるも何ハ其他を思ひ願ふや 百合花ハ如何し
 て生長かを思ハ勞せず 納屋も告んハプロモンの樂華の極の時だにも其裝之の花の一に及ざりき

- ルカ 12:1
- ルカ 12:2
- ルカ 12:3
- ルカ 12:4
- ルカ 12:5
- ルカ 12:6
- ルカ 12:7
- ルカ 12:8
- ルカ 12:9
- ルカ 12:10
- ルカ 12:11
- ルカ 12:12
- ルカ 12:13
- ルカ 12:14
- ルカ 12:15
- ルカ 12:16
- ルカ 12:17
- ルカ 12:18
- ルカ 12:19
- ルカ 12:20
- ルカ 12:21
- ルカ 12:22
- ルカ 12:23
- ルカ 12:24
- ルカ 12:25
- ルカ 12:26
- ルカ 12:27
- ルカ 12:28
- ルカ 12:29
- ルカ 12:30
- ルカ 12:31
- ルカ 12:32
- ルカ 12:33
- ルカ 12:34
- ルカ 12:35
- ルカ 12:36
- ルカ 12:37
- ルカ 12:38
- ルカ 12:39
- ルカ 12:40
- ルカ 12:41
- ルカ 12:42
- ルカ 12:43
- ルカ 12:44
- ルカ 12:45
- ルカ 12:46
- ルカ 12:47
- ルカ 12:48
- ルカ 12:49
- ルカ 12:50
- ルカ 12:51
- ルカ 12:52
- ルカ 12:53
- ルカ 12:54
- ルカ 12:55
- ルカ 12:56
- ルカ 12:57
- ルカ 12:58
- ルカ 12:59
- ルカ 12:60
- ルカ 12:61
- ルカ 12:62
- ルカ 12:63
- ルカ 12:64
- ルカ 12:65
- ルカ 12:66
- ルカ 12:67
- ルカ 12:68
- ルカ 12:69
- ルカ 12:70
- ルカ 12:71
- ルカ 12:72
- ルカ 12:73
- ルカ 12:74
- ルカ 12:75
- ルカ 12:76
- ルカ 12:77
- ルカ 12:78
- ルカ 12:79
- ルカ 12:80
- ルカ 12:81
- ルカ 12:82
- ルカ 12:83
- ルカ 12:84
- ルカ 12:85
- ルカ 12:86
- ルカ 12:87
- ルカ 12:88
- ルカ 12:89
- ルカ 12:90
- ルカ 12:91
- ルカ 12:92
- ルカ 12:93
- ルカ 12:94
- ルカ 12:95
- ルカ 12:96
- ルカ 12:97
- ルカ 12:98
- ルカ 12:99
- ルカ 12:100

